

令和6年度 事業計画

1. 基本方針

令和2年に発出した第3ステージ宣言の趣旨に沿って、SDGsの理念に根差した既存の事業を引き続き実施するとともに、滋賀県内の理系人材のすそ野拡大を目的とした新事業の端緒として、県内大学による取り組みを集約したポータルサイトの整備等に着手する。

近年支出超過が続いている状況に鑑み、令和5年度と同様に、状況に合わせた内容の見直しを行い支出精査するとともに、外部資金を獲得するなど収入増を図る。

2. 事業の実施

()内は前年予算額

(1) 大学地域連携課題解決支援事業 【2,200,000円】 (2,600,000円)

1) 方針

- ① 地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）が連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。
- ② 令和5年度に新規採択した事業（7件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて令和6年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。
- ③ 11月頃に支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。

2) 予算案

- | | |
|---------------------|--------|
| ① 大学地域連携課題解決支援事業助成金 | 200 万円 |
| ② 支援事業選考委員会経費 | 20 万円 |

(2) 学生支援事業 【550,000円】 (750,000円)

1) 方針

- ① 「MLGs(Mother Lake Goals)を通じて琵琶湖の環境、滋賀の暮らしを考える」をコンセプトとし、「MLGs Goal 11 びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう」をメインテーマに、「滋賀の新しいアクティビティを考える」を年度テーマに設定したMLGsワークショップを実施する。
- ② 以下の3つを目的とする。
 - ・ MLGsの理念について学習するとともに、実際に体験を通じた理解を深める

- ・ アクティビティを通じ、大学や学部、学年を超えた交流を行う機会とする
- ・ アイデアの検討を行う中で、互いの意見を尊重できる意識を醸成する

③ MLGs ワークショップのスケジュールは以下のとおり

- ・ DAY1：MLGs レクチャー
- ・ DAY2：グループワーク、カヤック・SUP 体験
- ・ DAY3：アイデア発表会

2) 予算案

55 万円

(3) 留学生事業 【 530,000 円 】 (670,000 円)

1) 方針

- ① 滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生および日本人学生を対象に、地域で抱える人口流出やインバウンドにおける県内市町の課題等を学んで、留学生から見た新たな方向性を提案するとともに、地域住民や国際交流団体等と交流して滋賀県への愛着を深める場をつくるため、滋賀県留学生のつどいを開催する。
- ② 滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動や留学生の就職と在留資格など、日本で就職活動を行う留学生のためのガイダンスを実施する。
- ③ 滋賀県外国人材受入サポートセンターと協力して、留学生等外国人材向け合同企業説明会を開催し、より多くの外国人留学生の参加を促す。
- ④ 県内の大学職員が在留手続を円滑に行えるよう、大学コンソーシアム京都と協力して研修会を開催する。

2) 予算案

- | | |
|----------------|-------|
| ① 滋賀県留学生のつどい | 41 万円 |
| ② 留学生就職活動ガイダンス | 10 万円 |
| ③ 申請等取次研修会 | 2 万円 |

(4) 就職支援事業 【 75,000 円 】 (150,000 円)

1) 方針

- ① 学生の就職に直結する事業として、行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業について、広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために引き続き、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会、就職面接会等に共催・協力として取り組む。
- ② 地元優良企業への採用と定着を踏まえ、滋賀経済産業協会を通じて企業人事採用担当者と加盟大学就職担当者との情報交換会を開催する。

- ③ 就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会を企画し実施する。

2) 予算案

- ① 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会 2.5 万円
- ② 大学就職担当者の研修会 5 万円

(5) 単位互換事業 【 400,000 円】 (1,000, 000 円)

1) 方針

- ① 単位互換事業として、各大学から提供される科目の単位取得事務を継続する。
- ② 事業告知のポスターは昨年度から継続利用、パンフレットは PDF データを配布し、出願者の募集を行う。
- ③ 大学連携・地域連携型 P B L 科目として開設した「おうみ学生未来塾」を継続する。

2) 予算案

- ① 「おうみ学生未来塾」開講助成 (200 千円×2 大学) 40 万円

(6) 理系人材育成事業 【 5,510,000 円】

1) 方針

- ① 県内大学による「理系人材育成に向けた取り組み」や「学び」に関わる情報を「理系的知のリソース」として集約し、県内小中高等学校の児童・生徒や保護者、他関係者向けに総合的に発信するポータルサイトを整備する。
- ② 県内の小中高等学校・大学の児童・生徒・学生に向けた正課外のプログラムの開催

2) 予算案

- ① Web の改修 121 万円
- ② ロゴの制作等 20 万円
- ③ 体験プログラムの提供 410 万円

(7) 広報事業 (事務局担当) 【 181,000 円】 (93,000 円)

1) 方針

ホームページでの情報発信を継続して行うとともに、各事業を推進するための広報や、加盟大学・短期大学、滋賀県、各市の各種イベント案内や参加者募集などの広報の支援を行う。

2) 予算案

- ① ホームページの管理・運営 7.5 万円
- ② 理系人材育成事業ページ作成にかかる更新 8.8 万円

③ 広報資料の配布 1.8 万円

(8) 全国大学コンソーシアム協議会事業 【 42,000 円】 (102,000 円)

① 協議会会費 3 万円

② 研究交流フォーラム 参加費・資料費・旅費 1 万円

③ 報告書購入費・送料 0.2 万円

3. 管理運営

(1) 事務所管理費 【 2,886,000 円】 (3,140,000 円)

滋賀大学大津サテライトと共同利用の日本生命大津ビルの定期賃貸契約を予算化する。

なお、事務所負担金、通信費等に関しては事業費と管理費を 8 : 2 で按分する。

また、看板掲出は 8 月末で終了し、現状復旧工事経費を見込む。

○賃料 (月額 202,928×12 月=2,435,136 円)

事業費	1,948,800 円	管理費	487,200 円
-----	-------------	-----	-----------

○通信費等 250,000 円

事業費	200,000 円	管理費	50,000 円
-----	-----------	-----	----------

○看板掲出料 (月額 22,000 円×5 月=110,000 円)

○看板現状復旧工事経費 90,000 円

管理費	200,000 円
-----	-----------

令和6年度 大学地域連携課題解決支援事業部会 事業計画

1. 事業方針

本コンソーシアムは「持続可能な開発目標に向けて」と題する第3ステージ宣言を行い、SDGsの達成を大きな共通目標として、これまで以上に多様で新しい連携・協働を進め、実り多い成果を積み重ね、滋賀の地域の発展に貢献していくことを表明している。

本部会においても、地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）が連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。

また、これらの事業を活用して、地域住民や自治体と大学・学生との交流の活性化など、双方が共に発展できる機会を創造する。

2. 主な取り組み

○大学地域連携課題解決支援事業（継続）

令和5年度に新規採択した事業（7件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて令和6年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。

（事業概要等）

- ・地域における様々な課題の解決に向けて、大学と地域が協働で取り組む教員と学生の活動、学生同士の活動に対して、活動助成を行う。

- ・1プロジェクトの支援額は単年度15万円を上限とし、採択件数に応じて支援額を調整する。

- ・助成対象はコンソーシアムに加盟する自治体（滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市）と連携する事業とする。単年度もしくは2年の事業計画を提出してもらい審査を行う。

- ・11月頃に支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。

（令和6年度事業スケジュール）

令和6年1月5日～2月16日 支援事業募集期間

3月中 選考委員会において採択（助成金）の審議、部会で決定

4月～3月 支援（助成）期間

11月～12月頃 中間報告会

3月中旬 報告書提出

3. 事業予算案 220 万

<内訳>

大学地域連携課題解決支援事業助成金	200 万円
支援事業選考委員会費	20 万円

以 上

2024(令和6)年度 学生支援事業計画について

MLGsワークショップの実施

1.コンセプト・テーマ

コンセプト 「MLGs(Mother Lake Goals)を通じて琵琶湖の環境、滋賀の暮らしを考える」
年度テーマ 「MLGs Goal 11 びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう」をメインテーマに、
滋賀の新しいアクティビティを考える」

2.目的

- MLGsの理念について学習するとともに、実際に体験を通じた理解を深める
- アクティビティを通じ、大学や学部、学年を超えた交流を行う機会とする
- アイデアの検討を行う中で、互いの意見を尊重できる意識を醸成する

3.概要

日時: 2024年9月5日(木)13:00-16:00

2024年9月9日(月)10:00-17:00

2024年9月12日(木)13:00-16:00

会場: 2024年9月5日(木)、9月12日(木): 滋賀大学 大津サテライトプラザ
(〒520-0056 大津市末広町1番1号 JR大津駅北口前 日本生命大津ビル4階)

2024年9月9日(月): 自然体験学習施設オーパル

(〒520-0101 大津市雄琴5-265-1 JR湖西線おごと温泉駅から徒歩約12分)

対象: 大学生、大学院生(環びわ湖大学・地域コンソーシアム加盟大学)

人数: 15-20名(最大)

4.詳細

DAY1: MLGsレクチャー

9月5日(木)13:00-16:00 @滋賀大学 大津サテライトプラザ

初日に今回のプログラムに参加する学生の皆さんの顔合わせや事務局より3日間のガイダンスを実施する。MLGsに関するレクチャーとして、マザーレイクゴールズ(MLGs)推進委員会の事務局である滋賀県庁琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課の担当者や2025年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会でのMLGsの取り組みを事務局の滋賀県国スポ・障スポ局の担当者にレクチャーいただく。

時間	内容
13:00~13:15	事務局説明
13:15~14:00	自己紹介・アイスブレイク
14:00~14:30	MLGsに関する講義
14:30~14:40	休憩
14:40~15:10	国スポ・障スポに関する講義
15:10~15:50	ワークショップ
15:50~16:00	まとめ・次回の予告

※日程はイメージです

DAY2: グループワーク、カヤック・SUP体験

9月9日(月)10:00-17:00 @オーパル(大津市雄琴5-265-1)

DAY1で学んだMLGsのことを振り返り、実際に琵琶湖に触れる体験としてカヤックとSUP体験を行う。体験後にどのような学びなどがあったかをまとめの時間を使って言語化する。カヤックやSUPは自分が体験したいアクティビティを選択することができるようにする。※雨天でも体験可能

時間	内容
10:00	オーパル集合
10:00~10:15	事務局説明
10:15~11:30	MLGs振り返り
11:30~12:30	昼食
12:30~13:00	着替え
13:00~14:10	カヤック・SUP体験①
14:10~16:00	カヤック・SUP体験②
16:00~16:50	まとめ
16:50~17:00	事務連絡

※日程はイメージです

DAY3: アイデア発表会

9月12日(木)13:00-16:00 @滋賀大学 大津サテライトプラザ

DAY1でのインプット、DAY2での体験を踏まえて、「MLGsを通じた滋賀の新しいアクティビティを考える」をテーマにアイデアを出し、発表会を行う。MLGsの関係者にもお越しいただき、意見交換を行う。

時間	内容
13:00~13:15	事務局説明
13:15~14:30	MLGsアイデア出し
14:30~14:40	休憩
14:40~15:30	アイデア発表・ブラッシュアップ
15:30~15:50	まとめ
15:50~16:00	事務連絡・解散

※日程はイメージです

5.スケジュール

日時	内容	備考
2024年4月	実施内容の確定	
2024年5月	学生支援事業部会 承認・契約	
2024年6月	募集開始(6/10(月))・説明会(6/18(火))	日付は仮
2024年7月	採択通知	
2024年9月	DAY1:MLGsレクチャー DAY2:グループワーク、カヤック・SUP体験 DAY3:アイデア発表会	
2024年10月	中間報告会に向けた成果のまとめ	
2024年11月-12月	課題解決支援事業中間報告会成果報告	
2025年1月	業務完了	

6.予算

品目	小計	内容
企画運営費	300,000	人件費、消耗品費など
講座コーディネータ料	90,000	ワークショップ講師 謝金 30,000円×3回
アクティビティ代	160,000	カヤック代・SUP体験代 6,000円×20名+保険料等諸経費含む
合計	550,000	*消費税込(10%)表記

7.確認事項

・7月の受講生の確定から9月の実施まで日数が開くため、参加学生へのリマインドを事務局から行う。

→今年度は、Slackなどのコミュニケーションツールの活用は想定していない

・成果の発信について、MLGsとの連携を取った発信の検討

→MLGs Webにおいて活動の様子を発信予定

参考URL:<https://mlgs.shiga.jp/>

以上

留学生事業部会 令和6年度事業計画

1 事業計画

(1) 滋賀県留学生のつどい（地域連携型 PBL 外国人留学生プログラム）

滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生および日本人学生を対象に、地域で抱える人口流出やインバウンドにおける県内市町の課題等を学んで、留学生から見た新たな方向性を提案するとともに、地域住民や国際交流団体等と交流して滋賀県への愛着を深める場をつくるため、滋賀県留学生のつどいを開催する。

ア 開催時期（予定）

2024年6～12月頃

イ 対象者

各大学留学生、留学生交流企画団体学生、大学関係者

ウ 事業イメージ

令和5年度のPBL型プログラムを踏襲する形で、日本学生支援機構の助成金を申請しつつ、甲賀市で実施予定

エ 過年度の取組（令和3年度以前は滋賀県留学生交流推進会議）

- ・ 令和5年度 草津宿本陣等の見学、国際交流団体等と交流、地域課題に対する解決策を留学生の視点から提案（草津市）
- ・ 令和4年度 三井寺、石山寺、瀬田川クルーズを実施
- ・ 令和3年度 （株）福井製作所を視察
- ・ 令和2年度 留学生にとって必要な支援をテーマとしたオンライン交流
- ・ 令和元年度 パナソニック（株）アプライアンス社を視察

(2) 留学生就職活動ガイダンス

滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動や留学生の就職と在留資格など、日本で就職活動を行う留学生のためのガイダンスを実施する。ガイダンスは、7月および12月に開催予定。

ア 日時（予定）

2024年7月、12月頃の2回開催

イ 場所（予定）

滋賀大学およびZOOM（対面およびオンラインによるハイブリット開催）

ウ 対象者

県内大学に在籍する外国人留学生

エ 内容（案）

講演1：日本で働くための就職活動について

講演 2：安定した在留資格を得るために

講演 3：内定を得た留学生および既に日本で就職している卒業生による就活体験談等

講演 4：外国人の採用実績がある企業の採用担当者による外国人に求める職種や採用ポイントについて

講演 5：就職内定者や卒業生へのインタビュー

質疑応答

(3) 留学生等外国人材向け合同企業説明会

滋賀県外国人材受入サポートセンターは、県内事業者および県内で居住、勤務またはこれらの予定がある外国人向け相談窓口として、滋賀県が設置・運営する支援機関であり、県内事業者と留学生等の優秀な外国人材の出会いの場を創出するため、合同企業説明会を開催している。

同説明会は、留学生に日本で活躍するポジティブな印象や多様な活躍の方法を示し、自身が活躍するイメージに幅を持たせるなど、留学生のキャリア形成に資することから、滋賀県外国人材受入サポートセンターと協力して開催し、より多くの外国人留学生の参加を促す。

ア 日時

未定（今年度は10月18日（水）に開催）

イ 主催

滋賀県外国人材受入サポートセンター

ウ 場所（予定）

オンラインおよび県内の会場（今年度はピアザ淡海）

エ 説明会の参加対象者

滋賀県での就職を検討している留学生（大学・大学院・短期大学・専門学校等）
JET プログラム参加者、一般外国人求職者等

オ 参加費

無料

(4) 申請等取次研修会

外国人留学生の在留期間の更新許可申請や在留カードの変更手続については、出入国在留管理局に留学生本人が出頭することを原則としているが、例外として、地方出入国在留管理局長が適当と認める者は外国人留学生の取次ぎを行うことができる（申請等取次者）。

申請等取次者としての承認を受けるためには、外国人の入国・在留手続に関する知識を有していることの疎明資料が必要になるため、県内の大学職員が在留手続を円滑に行えるよう、大学コンソーシアム京都と協力して研修会を開催する。

ア 日時（予定）

2024年7月頃

イ 主催

留学生スタディ京都ネットワーク

ウ 場所（予定）

オンラインまたはキャンパスプラザ京都

エ 対象者

申請等取次者の資格を希望する県内大学の教職員

オ 参加費

無料

2 調査・広報活動

滋賀県の留学生数の推移、滋賀県内大学における在籍身分・出身国（地域）別の外国人留学生数等を調査し、結果を構成員で情報共有する。また、留学生の紹介や交流事業などの活動をホームページで広く公表する。実施にあたっては、環びわ事務局と連携して行う。

3 予算案

収入の部	支出の部
日本学生支援機構助成金（留学生地域交流事業） 36 万円	（1）滋賀県留学生のつどい 41 万円 （2）留学生就職活動ガイダンス 10 万円 （3）申請等取次研修会 2 万円
計 36 万円	計 53 万円 （前年度予算額 △14 万円）

2024(令和6)年度 就職支援事業部会 事業計画

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症による新卒者の就職活動への影響が小さくなり、滋賀での就職を考える学生が企業との接点を持つ重要な機会となる合同企業説明会・就職面接会等が予定通り開催され、学生に対して積極的に情報を提供した。また、「はたらくデザインラボ～業界研究編～」などのイベントに滋賀県、関係機関と協働して取り組んだ。

令和6年度についても、引き続き「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、インターンシップの促進や学生の就職促進について、県の取り組み等を支援する。

1 学生の就職に直結する事業

行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業について、広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために引き続き、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会、就職面接会等に共催・協力として取り組む。

<令和6年度開催計画>

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響をほとんど受けることなくイベントが開催された。また、オンライン併用など学生の利便性に合わせた形態で開催されるイベントもあった。

令和6年度においても、オンライン開催を含め、学生への情報提供に積極的に協力していく。

○令和5年度開催実績

- ・協力：滋賀県全域 2回、大津地区 1回、甲賀・湖南地区 2回
- ・その他（広報協力）：滋賀県全域 3回、彦根地区 1回、東近江地区 1回、湖北地区 2回

計 12回

2 学生の就職準備支援に関する事業

学生の就職準備として、就職年次生だけではなく低年次生にも地元企業の魅力に触れる機会を創出することを目的とし平成24年度から開始した事業であり、本年度は「はたらくデザインラボ～業界研究編～」と名称を変更して実施したが、集客が振るわないため滋賀県商工観光労働部と協議し、令和6年度は一旦中止する運びとなった。

過去の事業実施成果としては、以下のとおり。

平成25年度 企業訪問会 ※平成25年度以降、滋賀県中小企業団体中央会と協力

平成26年度 企業訪問会、ミニインターンシップ

平成27年度 企業訪問会、滋賀の企業研究セミナー

平成28年度から令和元年度 「環びわ・しが就活塾」 業界研究、ワークショップ

令和2年度 「しが就活塾」 業界研究、ワークショップ（オンライン開催）

- 令和3年度 「しが就活塾」 業界研究会（オンライン開催）
- 令和4年度 「しが就活塾」 業界研究会（オンライン開催）
- 令和5年度 「はたらくデザインラボ～業界研究編～」（オンライン開催）

3 大学就職担当者と企業人事採用担当者との情報交換事業

地元優良企業への採用と定着を踏まえ、滋賀経済産業協会を通じて企業人事採用担当者と加盟大学就職担当者との情報交換を行い、学生の就職支援に繋げることを目的として開催する。

4 大学就職担当者間の情報交換事業

令和5年度は、各大学の就職担当者向けに、①「学生覆面座談会『学生目線のキャリアセンターのあり方』」、②「ディスカッション」、③「アウトプット『学生目線での就活支援に向けて行動宣言』」をテーマにした研修会を開催した。令和6年度も加盟大学の意見や要望を集約して、就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会を企画し実施する。

5 就職支援関係機関連絡会議

大学生の県内就職の現状ならびに関係機関および大学の取組について、必要に応じて情報共有し意見交換を行う。

6 予算案

就職支援事業

(1) 合同企業説明会の支援	0 円 (0 円)
(2) 学生の就職準備事業（しが就活塾）	0 円 (75,000 円)
(3) 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会	25,000 円 (25,000 円)
(4) 大学就職担当者の研修会	50,000 円 (50,000 円)
(5) 就職支援関係機関連絡会議	0 円 (0 円)
合計	75,000 円 (150,000 円)

※（ ）は令和5年度予算

以 上

2024（令和6）年度 単位互換事業部会 事業計画

1. 2024 年度担当校

主担当校：龍谷大学

副担当校：滋賀大学、成安造形大学

2. 2024 年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業計画

2024 年度の単位互換事業については、2023 年 11 月 8 日（水）に開催された「第 2 回単位互換事業委員会・教務担当者合同会議」にて審議され、基本的には本年度と同様に実施することで承認された。会議において、各大学の遠隔授業の実施状況が確認され、遠隔授業が開講されている大学においては科目提供時に遠隔授業科目の提供を検討することや、夏期集中や土曜開講など学生が受講しやすい環境に配慮いただくことが依頼された。また、出願票等の各種フォーマットは本年度と同様に作成、事業告知に使用するポスターは昨年度から継続利用、パンフレットは PDF データ配布で行うこととされた。現在は下記の「2024 年度 単位互換事業開講・出願スケジュール」に則り、2024 年度提供科目の集約ならびにシラバス原稿の作成等に着手している。

《 2024 年度開講・出願スケジュール 》

月日	区分	教務日程	備考
1 月 29 日（月）	【開講準備】	2024 年度提供科目報告期限	所定フォーマット
2 月 26 日（月） 【厳守】		2024 年度開講科目シラバス最終原稿締切	
3 月中旬		2024 年度「募集ガイド」HP 掲載	
4 月上旬	【出願・募集】	募集ガイダンス・出願受付	
～4 月 4 日（木）		出願受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は、 仮受講を認める。	各大学の状況に 応じて設定
4 月 8 日（月）17:00 【厳守】		「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
4 月 9 日（火）～ 4 月 15 日（月）	【選考・登録】	出願者の選考 <科目提供大学>	
～4 月 16 日（火） 17:00 【厳守】		選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学 >	所定フォーマット
4 月 17 日（水） ～4 月 18 日（木）		許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時		受講登録	所属大学で随時
4 月 22 日（月）～ 4 月 30 日（火）	【追加募集】	追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
5 月 7 日（火） 17:00 【厳守】		追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※夏期集中・後期科目を対象とする。	所定フォーマット
5 月 9 日（木）		追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
5 月 15 日（水）～ 5 月 30 日（木）		追加募集受付 <各大学>※許可発表以前に 開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応 じて設定
6 月 3 日（月） 17:00 【厳守】		追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット

6月4日(火) 6月11日(火)	【追加募集】	追加出願者の選考 <科目提供大学>	
～6月13日(木) 17:00【厳守】		追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定フォーマット
6月14日(金) ～6月21日(金)		許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時		追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時
7月22日(月)～ 7月30日(火)	【再追加募集】	追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
8月15日(木) 17:00【厳守】		追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学>※後期科目対象	所定フォーマット
8月19日(月)		追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
8月20日(火)～ 8月27日(火)		追加募集受付 <各大学>※許可発表以前に 開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
8月30日(金) 17:00【厳守】		追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
9月2日(月) ～9月6日(金)		追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定フォーマット
～9月10日(火) 17:00【厳守】		追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
9月13日(金) ～9月19日(木)		許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時		追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時

《 2024 年度提供科目 》

	開講 キャンパス	科目 番号	科目名	担当者	単位	回生	単位互換定員	開講期間
滋賀大学	大津	1	福祉と教育	平松 紀代子	2	1以上	若干名	春学期
	大津	2	日本と世界の文化	江崎 麻里	2	1以上	若干名	春学期集中
	大津	3	働くことの意味	神部 純一	2	1以上	若干名	秋学期
	彦根	4	経営学からの問い	小野 善生	2	1以上	若干名	春学期
	彦根	5	線形代数への招待	笛田 薫	2	1以上	若干名	春学期
	彦根	6	言語と文化	真鍋 晶子	2	1以上	若干名	秋学期
	彦根	7	現代社会と法	坂田 雅夫	2	1以上	若干名	秋学期
	彦根	8	現代の諸問題	佐野 洋史	2	1以上	若干名	秋学期
	彦根	9	環境問題を学ぶ	田中 勝也	2	1以上	若干名	秋学期
	彦根	10	データサイエンス・AIへの招待	岩山 幸治	2	1以上	若干名	秋学期
滋賀医科大学		11	医療イノベーションの基礎	尾松 万里子	1		若干名	前期
滋賀県立大学		12	おうみ学生未来塾(湖東)	上田 洋平	2	2以上	30名(全定員)	夏期集中
		13	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-	上田 洋平	2	1以上	100名(全定員)	夏期集中
		14	地域コミュニケーション論	上田 洋平	2	1以上	10名程度	春期集中
		15	びわこ環境行政論	堀 啓子	2	1以上	10名程度	後期
		16	地域産業・企業から学ぶ社長講義	未定	2	1以上	10名程度	後期
滋賀短期大学		17	近江学入門	秋山 元秀	2	1以上	若干名	前期
		18	数の不思議	久米 央也	2	1以上	若干名	後期
		19	地域ビジネス論	江見 和明	2	1以上	若干名	後期
滋賀文教 短期大学		20	古典文学講読Ⅱ	池田大輔	2		若干名	秋学期
		21	文学と地域	吉田 大輔	2	2以上	若干名	秋学期
		22	地域の歴史と民俗文化	中島 誠一	2	2以上	若干名	春学期
		23	書道Ⅰ	竹腰 迪代	2		若干名	春学期

成安造形大学	24	近江学B(大学連携・地域連携型PBL科目「お うみ学生未来塾(湖西)」)	加藤賢治 仁達孝昭	2	1以上	若干名	前期集中
	25	東洋・日本美術史概説A	小壽普通	2	1以上	若干名	前期
	26	東洋・日本美術史概説B	小壽普通	2	1以上	若干名	後期
	27	西洋美術史概説A	中谷至宏	2	1以上	若干名	前期
	28	西洋美術史概説B	中谷至宏	2	1以上	若干名	後期
	29	デザイン史概説A	平井直子 櫻間裕子	2	1以上	若干名	前期
	30	デザイン史概説B	平井直子 櫻間裕子	2	1以上	若干名	後期
聖泉大学	31	哲学	山口 隆介	2	1以上	若干名	後期
	32	心理学概論A	李 艶	2	1以上	若干名	前期
	33	基礎看護論	西山 ゆかり	2	1以上	若干名	前期
	34	成人看護論	古川 智恵	2	1以上	若干名	後期
長浜バイオ 大学	35	生物学基礎	岩本 昌子	2	1以上	5名以内	前期
	36	基礎微生物学	石川 聖人	2	1以上	5名以内	前期
	37	遺伝子工学	石川 聖人	2	1以上	5名以内	後期
	38	近江でのSDGsの実践	蔡 兪植、他	2	1以上	10名程度	後期集中
びわこ学院 大学	39	子ども学総論	烏野 猛 奥田 愛子 渡辺 雅幸	2	1以上	若干名	春学期
	40	滋賀の環境	佐々木 和之	2	1以上	若干名	秋学期
	41	スポーツ生理学Ⅱ	高木 俊	2	2以上	若干名	春学期
	42	メンタルトレーニング論	竹内 早耶香	2	2以上	若干名	春学期
	43	レクリエーション論	山ノ井 勉	2	1以上	若干名	春学期
	44	生活と福祉	山ノ井 勉	2	1以上	若干名	秋学期
びわこ成蹊 スポーツ大学	45	栄養と健康	武田 哲子	2	1以上	若干名	前期
	46	スポーツ社会学概論	佐藤 馨	2	2以上	若干名	後期
	47	レジャー・レクリエーション論	佐藤 馨	2	2以上	若干名	前期
	48	スポーツバイオメカニクス概論	高橋 佳三	2	1以上	若干名	前期
びわこリハビリ テーション専門職 大学	49	神経科学総論A	三谷 章	2	1	若干名	前期
	50	神経科学総論B	三谷 章	2	1	若干名	後期
立命館大学	51	スポーツマネジメント概論	長積 仁	2	1以上	10名程度	秋学期
	52	経済学特殊講義Ⅱ (金融・証券分析基礎)	三好 秀和	2	2以上	10名程度	夏集中
	53	生命科学概論	加藤 稔	2	1	10名程度	春学期
	54	近現代の科学技術(G1)	未定	2	1	10名程度	未定
	55	薬学概論	鈴木健二	2	1	2名程度	春学期
龍谷大学	56	里山学	調整中	2	1	10	前期
	57	環境の科学	奥田 哲士	2	2	20	後期
	58	生活の中の数学	荒井 徳充	2	1	15	前期
	59	社会学人類学	椿原 敦子	2	2以上	不問	前期
	60	びわ湖・滋賀学	横田 岳人	2	2以上	5名以内	夏期集中
	61	環境社会学	関 美芳	2	2以上	不問	後期
	62	コミュニティ論	坂本 清彦	2	1以上	不問	後期
	63	社会貢献論	川中 大輔	2	2以上	不問	前期
	64	植物生理・生化学Ⅰ	古本 強	2	1以上	20	後期
	65	食の文化論	尾崎 智子	2	2以上	20	前期

2024年度提供科目数：65科目

(参考) 2023年度提供科目数：70科目、2022年度提供科目数：64科目

3. 2024 年度事業予算案

〈内訳〉

おうみ学生未来塾開講運営費用 40 万円

(1 大学 20 万円×2 大学)

計 40 万円

(参考) 2023 年度予算案

〈内訳〉

広報費 40 万円

おうみ学生未来塾開講運営費用 60 万円

(1 大学 30 万円×2 大学)

計 100 万円

以 上

令和6年度 広報事業 事業計画

ホームページでの情報発信を継続して行うとともに、各事業を推進するための広報や、加盟大学・短期大学、滋賀県等自治体の各種イベント案内や参加者募集などの広報の支援を行う。

1. ホームページの管理・運営

当コンソーシアム各事業の展開を支援する広報事業として情報提供を行う。

新たに理系人材育成事業のページを作成するにあたり、ホームページの改修を行う。掲載内容を随時更新して、当コンソーシアムの取り組み内容などの周知を図るとともに、関係団体のイベント情報も随時掲載し、地域との連携の更なる強化を図る。

2. 広報資料の配布

令和4年度に作成したリーフレットを、未加盟の自治体や企業等の団体へ配布する。また、県内外での催し物などの機会を活用して、当コンソーシアムのPRにも活用する。

3. 予算

① ホームページの管理・運営	75,000 円
② 理系人材育成事業ページ作成にかかるホームページの更新	88,000 円
③ 広報資料の配布	18,000 円
合計	181,000 円

以上